



Title	Geser rëdzia-wuの語彙
Author(s)	角道, 正佳
Citation	大阪外国語大学論集. 1996, 15, p. 83-108
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/79704
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

Geser rëdzia-wu の語彙

角 道 正 佳

Geser rëdzia-wu Vocabulary

KAKUDO Masayoshi

Dominik Schröder (1910–1975) recorded *Geser rëdzia-wu*, the heroic Monguor language epic of *Geser* which consists of about twelve thousand lines, and left behind a German translation up to the 2452nd line. He also left a rough translation up to the 4574th line. The whole text contains about two thousand words, among which about one thousand four hundred are described in orthographic dictionaries such as *Mongghul Qidar Merlong* and *Monghol Qidar Harilqilegu Ugosge*. *Mongγol kelen ü üges* and the supplementary vocabulary of *Mongγol kelen ü üge kelelge yin material* tell us the meaning of twelve words and five words respectively. Schröder's previous work on the Monguor language gives us the meaning of thirty-one words. But all the rest have been unidentified. Likeyu's Chinese translation appeared in 1994 and, although more than one hundred fifty words remain unidentified, it enabled us to know the meaning of about five hundred words and phrases. The aim of this paper is to give an explanation of these words and phrases.

0. はじめに

Geser rëdzia-wu (ゲセル皇帝, 以下 GR と略す) は土族のゲセルであり, Schröder (1910–1975) が1948年11月25日から1949年6月30日まで青海省の互助の沙堂川の甘家堡で, 当時67歳の Tuo Ifula (朶先生) の助けを借りて, 1903年 Mula xonitsi paŋ 生まれの娘婿 Guänbo-sdzia から収録したものである。Heissig がその遺稿を解説付きで Otto Harrossowitz から1980年に出版した。テキス

ト本文は約1万2千行あり、このうち一部はドイツ語訳がある。1654行までは Schröder が Tuo Ifula の助けを借りて訳したかなり信頼できるものであるが、1662～2452行は Schröder 自身の試訳であり、訳していない部分があったり、明かな誤訳も含まれている。続いて4574行までは粗筋がわかる程度の訳が残されているが、それ以下は土族語のテキストがあるのみであった。

土族語の辞書としては、古くは de Smedt et Mostaert (1933) の *Dictionnaire Monguor-Français* があり、1982年の『土漢対照詞彙』、1985年の『土族語詞彙』、1988年の『土漢詞典』と相継いで辞書が出版されたが、これらの辞書に載っていない語が数多くあり、GR を十分に読解することはできなかった。Schröder には GR に先行する土族語の資料の紹介 (1952, 1959, 1970) があり、彼のインフォーマントの語彙約千語が確認できる。しかし依然として GR の読解には不十分であった。

1994年になって李克郁が『土族格賽爾』として漢語訳 (中国語訳) を青海人民出版社から出版したので、これを原文と突き合わせることによって意味不明であった語の多くが解明できるようになった。本稿で記すのは上述の辞書、とくに『土漢詞典』及び『土漢対照詞彙』に掲載されていない語で『土族格賽爾』のおかげでわかった約500語である。なおかつ意味不明の語が150語以上ある。

1. 土族語の辞書の実態

土族語の語彙の意味を知る上で利用できるものには次のものがある。

A. 『土漢詞典』(Mongghul Qidar Merlong)

互助方言の Xjir ghul (東溝) 方言を拼音方式の正書法で記したもので語数約14,000語。

B. 『土漢対照詞彙』(Monghol Qidar Harilqilegu Ugosge)

互助方言の Xjir ghul (東溝) 方言を拼音方式の正書法で記したもので語数約4,400語。

C. 『土族語詞彙』(Monɣor kelen ü üges)

互助方言の Xjir ghul (東溝) 方言を IPA で記したもので語数約6,000語。

D. 『土族語話語材料』(Mongɣor kelen ü üge keelge yin materiyl) の補充詞彙

Cの補充詞彙408語が IPA で表記されている。

E. Schröder (1952) のテキスト

互助方言の Halqi ghul と Narin ghul の中間方言をフィノ・ウゴル協会の表記で記したもので語彙リストはないが、他の資料には使用されていない語が少数ある。

Schröder (1959, 1970) のテキスト

互助方言の Halqi ghul と Narin ghul の中間方言をフィノ・ウゴル協会の表記で記したもので語彙リストはないが、約1,000語の語彙が使用されている。このインフォーマントに固有の語彙が多数ある。

F. 席元麟 (1985)

互助方言、東溝公社大庄大隊、洛少大放、白牙合大隊、東山公社寺爾大隊、五十公社寺

灘大隊の発音を IPA で記したもので語数266語、A, B, Cに記載されていない語が27語ある。ただし土族語からの検索はできない。

G. 『蒙古語族語言詞典』

Cと同じ表記であるが、Cに掲載されていない語彙がある。ただし土族語からの検索はできない。

H. de Smedt et Mostaert (1933) *Dictionnaire Monguor-Français*

互助方言の Narin ghul (那龍溝) 方言, Alima hanxar の発音をフィノ・ウゴル式の表記で記したもので語数は不明であるが数千はあるものと思われる。

de Smedt et Mostaert (1964) の著書の語彙リスト

上述の方言の語彙1072語を収めてある。

I. 照那斯圖 (1981) 『土族語簡誌』の語彙リスト

互助方言の Xjir ghul (東溝) の大庄一帯 IPA で記したもので、語数758語。

J. Тодаева (1973) の語彙リスト

互助方言の Halqi ghul (哈拉直溝) 方言及び場所は不明であるが、民和方言をキリル字による音声表記で記したもので、互助方言の語数1,157語。

K. 呂光天 (1981)

互助方言, 場所は不明, 165語

GR のテキストでA, Bに記載されていないがCに記載されている語は12語, A, B, Cに記載されていないがDに記載されている語は5語, A, B, C, Dに記載されていないが, Eで確認できるは31語ある。

2. テキストの実態

GR を読む上でいくつかの困難がある。まず GR は標準語とされている東溝方言ではなく Halqi ghul 方言と Narin ghul 方言の中間の方言である。しかし、Mostaert の Narin ghul 方言の記述があり、Тодаева の Halqi ghul 方言の記述があるから、これらに馴染めば GR の方言はそんなに難しくはない。次にテキストには語のバリエーションが非常に多いという点である。しかしこれも Schröder の先行研究や GR 自体を詳細に吟味すればかなり解決する問題である。第三に、表記の問題がある。手書きで残されているテキストの表記は、当然未整理のものであり、分かち書きの仕方にかなり不統一がある。そして第四に、明らかに誤記だと思われるものがある。これも文脈でかなり解決できるものである。そして最後に、チベット語アムド方言の借用語が数多く含まれている。これについては Róna-Tas (1966) の研究が非常に有用であるが、なお不明の点が多い。

分かち書きについて例を示してみよう。本来分かち書きにしない語で分かち書きされている語がある。正しい分かち書きがされている語もテキスト中に現れる場合はそれも記す。なお訳語は便宜

上記だけで、必ずしもその文脈に合ったものではない。

正しくない分かち書き	正しい分かち書き	
Ama gēwa 1450		どうする
lamān ntšieni 2909	lamantsien 501	可愛い
li ġuorla 5570		故意に
suei dalagu 3907	sueida- 2628	ゆっくりする
šda ur 4421	šdara 1742	家畜小屋
tolġue reni 3385		頭に
tši daġwa 3945	tsidaġwa 8167	大したものだ
ya ġa- 5069, 5235, 8864	yaġa- 484	どうする
yan dziladzia 6502	yanđziladzia 14	お願いする

本来分かち書きにすべきなのにそうになっていない語がある。

テキスト	正しい分かち書きの仕方	
Geser xaan yigedzi 8737	Geser xaan yi gedzi	ゲセルだと
gudolġuodzigena 9519	gudolġuodzi gena	動かしたそうです
mōtie 5516	mo tie	悪い、その
rienġgedzi 4705	rienġ gedzi	来ると
rešdadzigua 1614	re šdadzi gua	来られない
rewagedzi 8747, 11140	rewa gedzi	お帰り」と
sdziagēna 10523	sdzia gēna	行ったと
sogēdži 760	so gēdži	住むと
sōngēdži 761	sōŋ gēdži	住むと
uġouda 3446	uġuo da	与えろ
xarigedzi 8852	xari gedzi	帰れと
yigano 3766	yi gano	〜だと

分かち書きにする部分が本来のものとは違う語がある。

テキスト	正しい分かち書きの仕方	
kurgien nagēdži 5479	kurgienna gēdži	婿だと
tšüo nagēdži 7147	tšüona gēdži	少ないと
turu rešdadzini 6344	turure šdadzini	人のところで焼いている
ula tolġue resdzi 8569	ula tolġuere sdzi	山頂へ行け

次に文脈から誤記だと思われるものの例を列挙してみよう。

誤	正	
子音の違い		
düowa 8201	dzüowa	正しい
ġurdurdë 4226	ġurdundë	速く
šinadži 4607	tšinadži	挽いた
tsidzia 9732	sdzia	行った
ゼロ	r	
adaġo 4787	ardaġo	子供
kada 8688	karda	家畜
lasgu 4030	lasgur	手臼
šiadan 3923	šiadarni	旗
ゼロ	d	
xalani 5299'	xaldani	金
ゼロ	y	
fua- 10585	fuya-	つなぐ
n	ゼロ	
andani 4393	adani	できない
naroġ 2000	aroġ 1911	籠
Ududzan redzidza 11698	Ududdza redzidza	悪魔国から来たなら
r	ゼロ	
turdurġa 2138	tudurġa 5849	米
母音の違い		
tsi 11486	tsia	お茶
taŋgedzi 8680	teŋgedzi	そうして

GR の語彙を辞書で確認するためには、方言間の違いを考慮しながら、そうあるはずだと思われる形式を引き当てなければならないが、中にはかなり難しいものもある。以下に若干例を示す。

GR	正書法	
amëla 2, alëma 5299	alim	果物
ani 1152	ali	どの
dödžëlie- 1993, diušëlie- 11603	diuzile-	吊す

dzaŋda 10453, dzon 1671, 4928	zongda	今まで (～ない)
džio- 4168, dziö- 6938	jau-	咬む
dziendoḡ 2656	jantog	半分
dzila- 9836	njila-	する
ḡala- 4132, 4551, gala- 4121, ḡalā- 4131, ṣḡala- 4759, xḡala- 7348, 9157, 9158	hghala-	投げる
ḡeliemba 1770, Tib. glen pa	lembaa	幼稚な
ḡloṅutśie 7706, Tib. glung po che	(a)langwuqee	象
këḡaṅma 5801, kaḡaṅma 4161, kaxaṅ 7233, kaṅma 6526	kangmaa	絨毯
koḡma 1763, Tib. rog ma	ngogmaa	たてがみ
hala 726	hana	皆
lag- 4242	lagxi-	食べる
mäloṅ 1779, 1896, Tib. me long	merlong	鏡
ndzikua 7194, 7197, 7244	nqiko	もめごと, 戦争
ntśiembi 2918	qambi	シャベル
ntśuoṣdaṅ-ge 3099, tśuoṣdien 3224, 3231, 3226, tsioṣdienṅ 7819, Tib. mchod rten	nqooshden, nqoorden	塔
pedzaṅ 8104, pädzon 11583	paisong	嫁入り道具
sëmtśien-e 695, süntsied-ge 8924	simqan	世界, 生き物
šdera- 8430, sadziära- 7700	sajiraa-	散会する
xuarla- 2294, Ch. hua ⁴ (画)	huala-	描く

語義の認定に支障はないが、表記の面で念頭に置いておく必要があることがある。最初は精密表記が用いられ、しだいに簡略表記に変わっていく傾向がある。例えば、5100行目以下は ś, ts, dz の使用が減り, s, ts, dz で代用されていることが多くなる。8911行目以下は ff の使用が減り, f になることが多い。行頭の大文字の使用が5100-5350行に集中して現れる。u は最初とはときどき使用されているが、途中から全く使用されなくなり、11177行以下に突然 9 例現れる。

3. 『土族格賽爾』の翻訳の実態

『土族格賽爾』の訳者は土族であり、『土漢詞典』の編者でもある言語学者であるから、土族語の解釈については古語を除いて問題はないと思われる。しかし、漢語訳としてこなれたものにするためか、本文に即していないものが多々見られる。意味不明の語をこの翻訳に頼って調べようとす

る者にとって、これは大きな障害となる。次に問題となる例を挙げる。

まず、意識の例を挙げる。テキストの表記、和訳、漢語訳を記す。なお和訳は文脈に即したように訳してあるので、言語形式（とくに文末の時制標識）とは必ずしも一致しない。

- 4790 aka tšidoŋ ffuridza ġadzi riena
 アカ・チドン は 下から 登って 来た。 アカ其東從西辺走来
- 4791 udud loridzan redžiwu tišedza bōdzi riena
 悪魔の ルルザン 皇帝は 上から 降りて 来た。 魯日贊可汗從東辺走来

「下」には「西」,「上」には「東」の意味があることは『土漢詞典』にも記されているが,「登って来た」,「降りて来た」の意味が漢語訳では曖昧になる。

- 8380 mošē lošeni wargula nigēwa
 猫が 鼠を 捕まえるのと 同 じ だ。 如同猛虎捉綿羊, 老鷹捉小雞

動物名が違うのみならず、一文が二文に拡張されている。

- 6962 xaldani mandžāl mienguni mändžāl ġuora ġuoya
 金の マンジャルと 銀の マンジャル (二つ) を あげます。
 有未曾用過金鑲都 (xandu) 有未曾用過金納延 (nayaan)

マンジャルとシャンドゥ, ナヤーン (いずれも装身具) とは別物である。「金」,「銀」が共に「金」になっている。

次に誤訳の例を挙げる。まず意味がまったく逆になっている場合。

- 1797 ... šiedzēni tšiaŋġadžia
 おしっこを 我慢した。 解小便

次に数量が違っている場合。

- 5287 gudžew andžuali nige loŋġuo ġuoluodzi ġuo
 ブドウ 酒 二 瓶 潤して ください。 準備兩瓶葡萄酒の礼物

訳の順が違うことがある。まず行の順序が違う例。

846	ffuor	ġursär	xaan	
	ホルの	<u>黄色</u> のテントの	皇帝	請来了佛爾 <u>白</u> 帳可汗
847	ffuor	ġurgär	xaan	
	ホルの	<u>白色</u> のテントの	皇帝	請来了佛爾 <u>黑</u> 帳可汗
848	ffuor	ġurnag	xaan	
	ホルの	<u>黒色</u> のテントの	皇帝	請来了佛爾 <u>黄</u> 帳可汗

次に文中での語順が違う例。

9181	satsiadani	kandan, bosë, yäkun, yä	noxue, yä	xġe,
	その地方 (=ンゼマ) では	狼,	虎,	野人
				<u>野生 犬,</u> <u>野生 豚</u>
	gändziŋla kun idien yiguna.			
	すべて	人を	食べる。	
	恩孜瑪国里	餓狼, 猛虎, 野人,	<u>野猪, 野狗,</u>	都是一些喫人的猛兽

訳が対応しない例。

5570	bule	li ġuorla	gediergu nguruodziguna	
	子供 (=ゲセル) は	<u>故意に</u>	逆立ちした。	格寶爾仰臥于 <u>石窟里</u>

li ġuorla は辞書に liigorla 「故意, 特意」と出ているのでたまたま意味が分かれるけれども, もし辞書になれば, この漢語訳からは「石窟で」という意味しか読み取れないことになる。同様に次のような例もある。

9803	ulawa	nimerie szdiguna	
	泣いて	<u>力が抜けて動けなくなりました。</u>	<u>两眼泪水涌出, 突如泉水</u>

原文の 1 行が漢語訳で 1 行に訳されているとは限らない。

11602	aka tsidon	kudena xaridzi sdzia.	阿卡東轉回宮里
	アカ・チドン	は 家へ 帰って 行った。	
11603	anieni	diušëliedzia. sdziödadia.	将尕卡莎吊了起来
	お婆さん (=マンケグザ) を	吊した。 鞭で殴った。	鞭打脚踢惨不忍睹

11603行は漢語訳では2行に訳されているが、その結果本文にない語が付け加わっている。

漢語訳には多くの加筆が見られる。とくに甚だしいのは、5364行と5367行の間に原文にはない表現が13頁近く (pp. 287-300) に渡って加筆されていることである。Schröder の原稿にあったと思われる10467-10518行は出版の段階では紛失されていたらしく、Heissig (1980) には欠如している。というのはこれはちょうど1枚分に相当するが、Heissig (1980) ではページがとんでいないからであるが、これに相当する部分は漢語訳で6行 (p. 577) が加筆されている。逆に漢語訳では訳出されていない部分も数多く見られる。したがって出現頻度の低い語に関しては漢語訳が対応するように見えても完全には頼りきれないという問題がある。逆に出現頻度が高いのに漢語訳からはヒントが得られない語がある。例えば、*ḡuoluo* 及びそのバリエーションは3299, 3689, 4239, 4353, 5961, 7436, 7557, 6078, 6096, 6475, 7875, 8487, 8586, 9764の各行に現れるが、漢語訳では訳出されていない。*tēw* は2135, 5683, 5848, 6194の各行に現れ食べ物であることは文脈から分かるが、漢語訳には訳出されていない。

同じ語彙が様々に訳されていることがある。例えば、*šdara* 及びそのバリエーションは1742行では「圈棚」(漢語訳 p. 97), 1747行では「棚」(漢語訳 p. 98), 1749行では「圈門」(漢語訳 p. 98), 1754行では「圈棚大門」(漢語訳 p. 98), 6247行では「馬柱」(漢語訳 p. 350) と様々に訳出されている。しかし文脈からより正確な語義を決定する手がかりが得られる。1749行で「父がその扉を開ける」ことになっているし、1767行では「子供が馬をそこであちこち走らせる」ことになっているから、「家畜小屋」あるいは「家畜置場」でなければならない。これに対し、様々に訳されているが、語義を決定する手がかりが文脈から得られない場合もある。*(xoni) šakoḡ* 及びそのバリエーションは3408行では「老母羊」(漢語訳 p. 180), 3439行では「干瘦的羊腔」(漢語訳 p. 181), 3599行では「羊肉」(漢語訳 p. 189), 3702行では「羊」(漢語訳 p. 194) となっている。*xoni* 自体が「羊」であるから、*šakoḡ* は単に羊ではないが、「老母羊」、「干瘦的羊腔」、「羊肉」のうちどれが最も適切な語義を示しているか文脈から手がかりは得られない。

『土族格賽爾』の出版以前に、辞書などに頼らないで文脈だけから語の意味が推定できたのは、次の数語にすぎない。代表形で記す。*kaya* 2171「敵」、*mpieṅ* 4830「標的」、*redzawa* 5278「夫婦」、*sgasnien* 7945「消息」、*šdara* 1742「家畜小屋」、*tolḡue uruo-* 9218「降伏する」。

4. GR の語彙で『土漢詞典』、『土漢対照詞彙』に記載されていない語

辞書に記載されていない語のうち、語義がほぼ確定できた約500語について以下に記す。『土漢詞典』、『土漢対照詞彙』で確認できる語は約1,400語ある。この二つの辞書には記載されていないが『土族語詞彙』、『土族語話語材料』の補充詞彙に記載されている語が17語あるので、それらについては以下に記す。同じインフォーマントによる別の資料 *Aus der Volkedichtung der Monguor* で確認できる31語についても記す。個々の語では『土漢詞典』、『土漢対照詞彙』に記載されているもので

も熟語として記載されていない場合も記す。

4.1. 配列順

補助記号（長音符号，ウムラウト，歯茎硬口蓋音の符号，下線）があるものと無いものとを区別せず同列に通常のアルファベットの順に並べる。ただし反舌音は非反舌音の後，軟口蓋鼻音は歯茎鼻音の後に並べる。すなわち，dž は dz の後，š は s の後，tš は ts の後，ŋ は n の後に配列する。g と ġ は別の音素であるが，配列上は区別しない。各語彙は代表的なものを最初に示し，バリエーションを続けて記す。バリエーションが大きく違う場合は別々に記し，→で何を参照すべきかを記す。訳語が確定しないまでも，漢語訳で対応する表現が明確な場合は〔漢語音訳〕あるいは〔漢語訳〕をそのまま記す。数字は現れる行を表すがすべてではない。数字の次の' は行番号の付け間違いのため2回目に現れる行を現す。数字の次の a は該当する行に番号が付いていないが，その数字の行の次にあることを現す。

4.2. 凡例

1. [] 『土漢詞典』，『土漢対照詞彙』にはないが『土族語詞彙』にある語
2. 【 】 『土漢詞典』，『土漢対照詞彙』，『土族語詞彙』にはないが『土族語話語材料』の補充詞彙にある語
3. VM I 1， 2 にはないが *Aus der Volkdichtung der Monguor, Teil 1* にある語
Xoni: 羊，MI: マンガス I，XM: 黒馬，B: 仔牛，SN: 鴨のつがい，G: チベット，中国，アムド，A: オウム，チベット，カッコウ，xue: 格言と比喻
4. VM II 1， 2， 3 にはないが *Aus der Volkdichtung der Monguor, Teil 2* にある語
5. DMF 1， 2， 3， 4 にはないが，*Dictionnaire Monguor-Français* にある語。ただし簡略表記に置き換えた。
6. Ch. 中国語
7. LT Róna-Tas (1966) に記されているチベット文語形
8. Tib. チベット文語形
9. § Róna-Tas (1966) の番号
10. () 『土族格賽爾』の註で李克郁が正書法で記している語
11. (?) 出現頻度が低いいため決定的ではないが，文脈，『土族格賽爾』の漢語訳を参考にして意義を類推した語。

ada- 4844

立てる

ada age- 4611

急ぐ

aḡaḡa, piši 5245'

(響きを表す)

aka 225	(男性に対する呼びかけ)
aho, honi, ohoho! Aha, aho, haha 1208,	
aho, ffani, ahaha 5062	(笑い声)
amāda li gē- 5106, ama li ge- 5142	きちんとする
amāna kuor- 3573	用心に用心を重ねる
amuda- 3193	敬意を表する
amuraḡla- 10217	和睦する
andžuali 5287	(葡萄) の酒
araḡon 9457 → raḡon	
araḡsanḡe 1481	早く
araḡ (n)tsiembunḡula 5838,	
araḡ ntsiembunḡula 5853	各位
araḡyadeni 4047, 4961, araḡyadi 4396	無駄に, わけもなく
ayaḡ 5823	たくさん
ayāḡdē 4573	たくさん (?)
ayo 6249	(驚きを表す)
ayoh 3526, 3798	[感嘆詞]
baka- 563 正書法 bagha- ?	建てる
baḡdzē 2694 VM I XM 115, A 7 【baḡdzi】	翼
bala- 2691, 3848, 5518, 5620, 10052,	
b'al- 5631, balā- 10050, VM I M II 35	落す, 傷つける, 動かす
balada 6757	(押し倒す音)
bārdi 3889	(屁の音)
bēḡa- 6840 正書法 bagha- ?	(杵で) つく
beḡa 9283	(人の皮で住居を) 囲む
bergān dō 11462 【bergen diu】	兄嫁と弟嫁
bidzaḡe 11332	探す (?)
bielie- 7756, 9862 VM I B 69, Ch. bian ⁴ (変)	変わる
bōdzē 11937	[助数詞] 包
bugē- 3833	(頭を) 垂れる
Bumms 1205	バーン
daḡ 5845	遠慮 (?)
daḡla- 5870 正書法 dagla- ?	遠慮する
daḡdaḡ 8632, daḡ daḡ 8639 [daḡ daḡ]	老人

dargändē ġar- 817, DMF dargändu ġar-	暇ができる
dargu sdzier 8108	腕輪
darmutsi 7676	旗竿
delie- 10091, VM I A 13	うなずく
dešor 3666, 10990	ふりをして
diel džia 3765	服の裾の切れ込み
diergēlie- 11526	広げ伸ばす
diġla- 5137, 9172	落ちる
do raġdeġaŋge 3201, 3218, 11205, do ġaġdēġānē 3943,	
do rāxdēġaŋge 4294, do rēġdēġaŋge 6314, 6489,	
do rēġdeġaŋge 11208, do raġdēġa 9202	今まで
dō 7696	一杯
dola te- 7607	退治する
doŋge doŋge 3988	(歌っている様子)
doŋma 9173	ただ
doŋregān 673, 712	枯れた
duēġilġa- 5225 < [duikə-]	合わせる
duei- 4183	こじ開ける
dun 10527 【dun】	回数
duombēra 7745	東ト拉 (dong ¹ bu ⁴ la ¹) 帽子
duondilġa- 10318	倒す
dzāma dedžia 4376	夢から醒める (?)
dzaŋ 9471	浅い
dzēgurda 8393	地面に (横たえさせる)
dzērila- 2771, dzerela- 4469	投げる, ほうる, 飛ばす
dzetoġ 2602, dzētoġ 6520, sētoġ 5847, setoġ 7132	(食べ物)
dziaga dzaŋaŋge 5268	諦める
dziagedzāŋgulo 10045, dziagēdzāŋgulo 10103	おとなしく
dzialān malān 5304'	言い掛かりをつける
dziaŋdzen 7390	全然 (?)
džiedžildžinge 4119	丸ごと呑み込んで
džieġuēġa 4585	チベット (?)
džiladži 94	急いで
dzilma 6033, 7540, 7640, dzülma 6027, dziamla 9813	一生の, 命運

džin 2118, Ch. zhen¹
 džina- 4823
 džindawano 3657, 4286
 džiōma 4632, džiamā 4633
 džira- 655
 džüerliwa 1817, 4825
 dzüldegän 5560
 dzüldzien 7723
 džültšien 3180, 3184
 dzüoluoğ 6477
 dzuor 7263, dzuorua 7300, dzuori 7315,
 dzuora 7330, dzuorë 7379 (jor)
 dzüowgu 5775
 džabdžige 4205, džabšdžine 4220, džabšdži 4223
 džag 47, džəŋg VM I xue 27, Tib. brag
 džeb xoğlo- 4190, džəb xoğluo- 4223, 4224
 džeginge 11849
 džentsien 2982, 2989, 3019, džentsien 2954,
 šžentsien VM I G 40, džentsien VM I G 47,
 LT drin-čhen § 14
 džoğ 6, 5280, 7743
 džuali 4900, džuzli (zholi) 889a
 džuānga 10434
 džuoxuange 7267, 7273
 Ei 3937
 ffdzaŋ 5 VM I Xoni 334, LT bsañ § 544
 ffsüera 2478, LT byi-ru § 690
 fsiri hegë 11511
 fsüäreğde 5900, ffsüerëğ 5914
 fsëğ mōšëğge 9012
 ffuāndoğ gua 4265
 fuānladzi 8918
 fuli dē- 3486
 fuoluoluo- 6672, 11240, fuoluola- 6680

針
 追いつめる
 急いで
 山羊
 教える
 こそこそ
 (山の) 口
 錫箔
 黄色の (ヨモギ)
 無力である (?)
 うどんを作るときや僧侶が
 呪いをかけるときに用いる
 必要である
 お経を読み呪文を取り除く
 岩
 呪いをかける
 絶好のもたれる物 (?)

 優しい
 礼物 cf. turoo
 野鼠
 嚴肅に (?)
 布施
 [感嘆詞]
 煙
 珊瑚
 五色の絹糸
 本当に (?)
 家の中に (?)
 何の役にも立たない
 一年
 赤くなる
 準備する

furdza-ni 10875	ホルから (?)
fusdzziel- 11584, fsdzialë- 11592	(お茶を) 勧める
fusila- 8718	お伺いする
futänranje 11935	真新しいのを
gadu 2044, 2087, VM I XM 77	朋友
ġa, ġadë 10626	(鳥の鳴き声)
gändziara 7226, VM I A 64	庇 (ヒサシ) 飾り
ġanidza 5301	友人 (?)
ġëdzawa 5475 → rëdzawa	
gemba-dzie 6914	らしい
gier gier 5836	(げっぶの音)
ġlu 599, VM II 523, LT klu § 157	ナーガ
ġlusmăn 599 < ġlu「ナーガ」+ smăn「薬」	龍薬, 神薬
ġualaġ 10019	根拠のないこと
guăn kirie 4609	黒い鳥
guei 504	絹
guei xserma 3171, gueiġsërma 8107,	
gueisdzurma 11929, gueixdzërma 984, 6631	綢子
gugu, gugu 2961	(カッコーの鳴き声)
gugu bud 3040	(カッコーの鳴き声)
ġuoġluo- 674, ġuoġla- 1742	支配する, 管理する
ġuolda ġuoldidzi 3017	[漢語訳] 羊腸小道
ġuoluō 92, ġuluo 99	知恵
ġuoluo- 1783, 1785, 5287, 5750, 9374, 9437	潤す
ġuor ġuadi 4025	(なめて食べる様子)
guoranje gei- 3865 → ŋguoranje ge-	
ġuorua ge- 5756	お願いする
ġurdzien 7746, 7767, DMF gurdziän, LT mgo-rgyan § 198	僧侶の帽子
gur 1152, 2961, LT gur § 199	テント
ġurgär 847, Tib. gur dkar	白いテント
ġurnaġ 848, Tib. gur nag	黒いテント
ġursär 846, Tib. gur ser	黄色いテント
gušgum 6514, VM II 84, LT gu-rkum § 202	サフラン
haba 1462	もし

hadan bōdāndi 4040	息を切らして
hadžini 3124	恩情の時期
hasa- 9676, VM II 808	作る
henliegu/huiliegu 2396	珍しい
hi- 3412, hie- 3557, hē- 11497, he- 11500, he- 11502, 11508, 11509, 11511	縫う (?), 準備する
hlawu ġuluwum 7670	〔漢語訳〕 五色粮
hm hm 2927	フンフン
kadā 1880	〔漢語音訳〕 カ達
kadaw 694, 762, 763, 1104, 1110, 1173, 1237	能力
kadzärma taše 3840	〔漢語訳〕 塊青石頭
kadzēġ 65 【kadzag】	木炭, (地殻)
kalaxua 3809, ka laxuo 4239, kā laxuä 7520	勇敢な
kaṅġulo- 6794, kaṅgulo- 6799, kaṅġula- 6797	築く
kämsan 8562, 8568	境
kawsüēġ 9050, 9063, kawsüoġ 10007, kāwsieġ 11297, kawšioġ 10014, kawsüoġ 11268	いじめ
kaya 2171, 3424, 4849, 8364, kayā 4687	敵, 相手
kēn ge- 6759, kēnge- 6779, kēnge- 9318	怒る
kēzōn 4124, kudzoṅ 11848	棒
kewloṅdzinge 9670	誓って
kewloṅla- 2250, 10239, kie uloṅla- 3902, kie uloṅ la- 4146, kāwloṅṃla- 6819, kēwloṅla- 7198	誓う
kikā 10847, kēka 10856	大山
kikare bosē 8900	猛虎
kōdzinge dōl- 7280	飛び跳ねる (?)
koġma 2056, 6862, 6863, Tib. khong ma	壺
koṅ 149, 223	凹地
kuānguordi 4121, koṅguorde 5972	軽々と
kuei 10899, 11201	損失
kunaġ 8796	青茶(ミルクの入っていないお茶)
laġa urē- 2300	入って行く
lamašduoṅge 7939	〔漢語訳〕 来世之平安経
lämbeṅ ulumbene 1124, lamben ulunbeni 3903	〔漢語訳〕 十万龍經

larmu 6474	相貌
lašdzaŋ uluščdzaŋ 1123	[漢語訳] 拜永恒長生天 (?)
lawsienge 9264	神鳥
lë-lä 10388	取り返す
li- 3875, 3869, 4387, 4409, 4712	よい
liaŋua 2893 [lian]	梁
Lombo samsu 7059	紅網
lōwurda- 8548, 9518, lowurda- 9523, lūla- 3811	ブツブツ言う
luodoḡ 10226, lodoḡ 10236	豊かである, 繁栄している
luolalḡa- 2359, luoglalḡa- 2363, 2387	還俗させる
luoluo 2430, luo luo 3003, luo, luo 3114	ぼうや (指小辞)
luorow gē- 5566	嘲る
lurgu 686, lōrguo, 1102, lōrgu 1108	教養, 英雄の気概
lušde 6850 → uluošde	
ma-aa 9688	(羊の鳴き声)
mandžäl 6962	(装身具)
manḡunḡe 4143	(のようなもの) ?
martaḡ 8130	祝福
mawya 6515, VM II 82, Tib. rma bya	孔雀
mbaḡoŋ 1837, mbaḡaŋ 2074 mbaxoŋ 5508	硬い氷のような
mburēwa- 1905, mburwali- 2216	変身する
moŋgula 6376	ひっそり (泣く)
mordēr- 10278	鋭くなる
mōšdēwa 7255, mošdēḡwa 7262, mardewa 7294,	
mošdewa 7304	僧徒
mošdza 9987	早いうちに
mpara 3346, VM I B 37, LT 'phar-ba § 330	野生犬
mpieŋ-ge 4830, mpien 4840, pieŋ-ge 4854	標的
muda mu 3371	(犏牛の鳴き声)
mulḡan 1329, malḡan 1763, mēlḡan-ge 4096	小さい
murū 3842	肩
namla- 937	滅亡する, 衰退する
ndēgi 9420	このような
ndiesdzidge 10237	平安

ndinge paḡ- 3693, ndinge baḡa- 4398	決める ndinge paḡ- 3693
ndzēmani ntšemni 9192	山犬と狼 ndzēmani ntšemni 9192
ndzērewa re- 7326, dzērewa re- 7323	(頭が) ふらふらする ndzērewa re- 7326
ndziasguardē 8045	朝勤 (?) ndziasguardē 8045
ndziawa paḡšē 7353, ndziewa paḡšē 7358	小僧, 参詣者 ndziawa paḡšē 7353
ndźiedźi 1616	堪える ndźiedźi 1616
ndźiamba 4449, mdźiamba VM I B 88, LT 'gram-pa § 373	川岸 ndźiamba 4449
ndžonj 3845, LT 'brong § 319	野生のヤク ndžonj 3845
ndžo 2010	朋友 ndžo 2010
nidźie 1919	粒 (?) nidźie 1919
nidźieṅge 1064	一人も nidźieṅge 1064
niṅsē 5021, 8325	これら (?) niṅsē 5021
nišdie- 4860, nisdie- 8788, nišde- 9973	臭う nišdie- 4860
nōdada 6945	踏んで (?) nōdada 6945
ntsamsoli 11940	綱子 (?) ntsamsoli 11940
ntsaraṅgē 8202	心配 (?) ntsaraṅgē 8202
ntsemašdoḡ 1437	不幸 ntsemašdoḡ 1437
ntsōmbō 47, ntombō 594, Tib. mtho bo	高い ntsōmbō 47
ntsamkaṅ 6824	本丸 ntsamkaṅ 6824
ntsuomdzia 1154, 2368, ntsuomdzia 8555, VM II 593	武器 ntsuomdzia 1154
ntšem 563	祭壇 ntšem 563
ntšem baka- 563	祭壇を建てる, 駐留守備する
ntuna 4620	霧 ntuna 4620
nuru 5872, LT nor-bu § 408	宝石 nuru 5872
ṅ ṅ ṅ 10437	(はっきりしない返事)
ṅgadan ṅga ṅga 3373, 3391	(赤ん坊の泣き声)
ṅgāṅge- 3689, ṅgaṅge- 4892, ṅgaṅgē- 4894,	
ṅgāṅgē- 10196, 10198, 10199	騒ぎを起こす, かき乱す ṅgāṅgē- 10196
ṅguānsi redzi- 5568	疑いをいだき警戒する ṅguānsi redzi- 5568
ṅguṅkaṅri gē- 3177	細心に世話する ṅguṅkaṅri gē- 3177
ṅḡuo regu 1496, Tib. mgo dgu	九つ頭 ṅḡuo regu 1496
ṅguoxaṅge ge- 3232, ṅguorua ge- 4308,	
ṅguoxua ge- 5489, ṅguoxua gē- 5489	諫める, 励ます ṅguoxua ge- 5489
ṅguośdziḡ 4255, Tib. mgo bshi	四つ頭 ṅguośdziḡ 4255

n̄guoladzieġ 7309, 7311, 7314	進撃する
ŋkamdi d̄ziŋge 2771	地平線 (?)
ŋkuāŋga yangedzi 3749	つぶやいて
ŋkueiwa 685, 720, 1103, 1236, kueiwa 1109, 1163, 1172	知識, 知恵
ohō! we! ya 11884	[感嘆詞]
orāndzide 11939	袖の長い上半身の上着
padzia- 8381	救う
parmōni 8726	慈しみ深い
pōloġdōno 3894 正書法 poola- ?	出す
rašbē siŋ 5288	(木の種類)
rebiaġdi 4606	(投げる音)
redaru 2159	相手
rediebšedzi 2351	至る所ひしめいて (?)
rediek <u>u</u> ā 2365, rēdiekua 5719, rēdēkua 6948	罪
reduŋgeda 3383	全く
reduomba- 4053	飢えた (?) あちこち行く
reduomšiaŋge 3808	不気味な, ぞっとする
redzawa 5278, 8755, 9498, rēdzawa 9433, 11496,	
ġēdzawa 5475, redzōwa 8088	夫婦, 伴侶
rēdzēla- 7691, 8474	お喜びを言う
redziaŋda 2690, 10022, 10039	射る, ピューと
redziġladzin 2024, redziġladzi 2028	渴いた井戸
redzoŋwa 929, redzuonwa 831, 2396, ndzaŋkaŋ 2463	贈物, 持参金
regam 9565, 9876, rēgam 9885, rēgām 9886	戸棚
rēgasie 3148, regasiŋgi 3814	美しい
regēwa 6949, rēgiewa 5718	罪がない
regaŋsēġ 7225, rgaŋsēġ 2904, gaŋsēġ 2895	[漢語訳]宮殿, 頂頭, 中梁上
rēġgeda ugua 3753	足跡もない
rēguodon larga-rē 5728	鳶の強健有力な羽
rentsierenge 2401	貴重な
reš-dzia 1096	～なければならぬ
rēwala- 1054, rewala- 5905	求める, 必要とする
reynodo- 2471	必要だ (?)
ri rēmu 655, rē rēmu 723	指のしわ, 指紋

rimu 4474	(尻の部分)
rintsien 7060	石獅 (?)
ruloḡ 2458	繩 (?)
sa- 8997	教える, 言う
saḡu 4199, 4208, 4211, 5825, sagu 4216	(水瓶の) ポット
sali 7064, 7087	城壁
sandë 5826	おかず (?)
sānfala mudie- 10736	夢からさめる
sāngada- 7338, 8237, 10915	訓話する
sāngada- 8307, 8712, sengada- 8265	遊び戯れる
saṅma 8108	[漢語音訳] 桑瑪
saṅmade- 4226	[漢語訳] 只經三尺天長高了三尺
saṅxuen 7076, soṅxuon 7078	商人
sar- 3567	擦る
sara 10671	羽 (?)
sāra 11024	ようだ (?)
sara- 2984	(鍋の中に) 入れる
sāradi 3773	[擬声語]
sardaḡsë 10855	(矢) ?
sari 2570, 2572	考え
särsioḡ 6519	[漢語音訳] 撒爾夏克
satši- 1240	噴き出す (?)
satšia 1238, satšier 3882, VM I M I 138, LT sa-ča § 528	所
sawsir 11256, 11260	透明の
sdzier 11842	椅子の背当て
śdzierḡe 3795', sdzierḡe 11574, dierḡe 10920, [çdzærgai], LT ḡcad-gi § 651	破れてぼろぼろの
śdzio niuri 3206	自分の (?)
śdzuän 4066, śdüen 3685, sdzüän 8648	(否定と共に) つつがない
sëma 914a, Tib. smad	低い
sëmašdoḡ 4233	心配
sëmuni 10372	すぐに (?)
sënaḡ 5602	呪文
senalḡa 9700	読経 (?), 悲しそうに

sēnardži 4904 [sna:ɕdza]	鼻輪
senēde- 9785, sendē- 8912	お願いする
sēniṇredži 1373, sēniṇredzi- 6452, sēniṇrēdžz 6450	慈悲
sēṇ 4158	層
seṇdziaṇ 6008	菜園
sētoḡ 5847, setoḡ 7132 → dzetoḡ	
sgasnien 7945, 7949, 8198, 10752, 11706, sgasenien 9065, sgasien 11637, sgesnien 10386	消息
sgawla- 681	面倒を見る, 処理する
sgil dereni šdoṇ gilḡa- 3823	心に恐れさせる
sguorna tsüroḡ 8107, sguorma tšüroḡ 8122	刺繍した長い靴
šiamla- 734, 6619	(旗を) 揚げる
sidogre uruo- 5301, sidonṇe uruo- 5317	隠れて入る
sieḡḡē 3036	パッと (掴む)
šien šien 5861	消化して (?), しだいに?
šien sō 5124	[漢語訳] 不忙
šierdzia te- 5256', 5772, 6607	嘲笑する, 喋る
šierguod 2885 (šie+rguod「驚」)	オオハクチョウ
šilie 2464	袋 (?)
silili, silili 10543	(コウライウグイスの鳴き声)
šimie šimie 2871	羽をまっすぐ広げて
siṇkan 8419	用事
sirie 11338	加熱して精製する
sōdaḡ 1074, 1387, 1412, xsōdaḡ 2247 sūodaḡ 1338 (soodag)	ハダック
sōde 3457	とき (?)
sodzar 7606	天下の (?)
sodžilḡa- 4470	まく
sōwa 6620, 6648, 6888	皆
šüan 878	急いで
šüan šüan 5831	しだいに
suändži- 4847	からかう
suāni 10589	誰が
suoniladzi 8655, 10888, suāniladzi 8662, 10862, 10865, 10868,	

10869
 šülka 579
 šümbu ge- 7709
 šadzinadzi- 5408 → šodžina-
 šakoḡ 3408, šakoḡ 3439, šiaḡkoḡ 3702
 šaṇdē 8108 (xangdu)
 šbadila 6616
 šboḡde 2065
 šdamtšoḡ šilie 2464
 šdana 9288
 šdara 1742, 1747, 1749, 1754, šdawur 6247, šda ur 4421
 šdardzioḡge te- 6687
 šdarga 6478, 8176, šdarḡa 8180, 8196, 9444, 10889 [šdar]
 šdawkaṅge 1130, šdewkaṅge 1135
 šdgandoṅ 7748, DMF gaṅdoṅ, LT rkañ-duñ § 171
 šdielgu 2854
 šdier-ge 3055
 šdod 28, DMF sdor, LT stod § 542
 šdoṅ 4060, 5590, 5775, 9156, Tib. stong
 šdormu 5593, 2812, VM I XM 322, LT rdor-mo § 624
 šdormu šdortsien 5593
 šdzaṅ 4542
 šdzarua 1259
 šdzē 47, Tib. rtse
 šdzeḡla- 612, 5419, VM I M I 143
 šeda- 5131
 šedzin 6903
 šela 4595, šēla 4599
 šēla- 10162, 10163
 šela- 598, šili- 4996, šelie- 10787, VM I SN 10, B 85
 šelie 862
 šemo 2405, šemoḡ 2438
 šemō 785, 11986
 šen dzölge 5186

昼夜
 秋 (?)
 言う
 羊腔
 (装身具)
 渡す
 パーンと
 刺繍した袋
 (心を) こらえる
 家畜小屋
 矢を射る (?)
 〜のとおり
 企て
 人骨のラッパ
 フクロウ
 桶
 高地
 千
 宴
 宴
 ヨモギ
 巻狩りをする人
 頂上
 置く
 (袖を) 振る
 腋の下
 転山
 痛める, 損なう
 摘む
 惜しい (?)
 兜
 ト具, 易者
 蠅

šēnēga 7736 [cinaga, šnaga]	柄杓
šgamu 674, 6112 VM I Xoni 187, LT dka'-mo § 640	難しい
šgawde 4693, 4815, šgawdeē 4685	若い (?)
šgerma ndietsieni udur 2965, sgërma rēdietsieni dur 3030	縁起の良い日
šoḡ 5112, VM II 670	穀物
šōdzina- 2021, šadzinadzi- 5408	騒ぐ, 風の音がする
šundē 11566	(正しく) 乗る?
tamtšicēn 2195 (sēm̄tsien ~), [tamtçæn]	世界
taṇ 218 (-dza ~)	だろうか
taṇge šdziodo koḡma 2459	仏像が付いている袋
tardoḡ 10255	産毛が残っている
tarma 4551, 8120, tārma 8097, ntarma 6632	錦, 綱子
tarwa 1546, 1552, 1565, tarēwa 8645, 8660, 6078, 6117	運命
tasē 9902, 10931, 11509	すぐに
tawlā- 4686, tawla- 5402, 6188, towla- 6213,	
towluo- 6252, 7165 (luo ~)	昔と同じではない
t'do 8959, t'udo 8960	少し (言う)
tēlula 9349	一杯にする
tēraḡoṇ 4911	そこの (?)
tēw 2135, 5683, 5848, 6194	(食べ物)
t'ḡaṇgega sō 8988	[漢語訳] 不要装在心里
tiebše 2604, tiewše 5800	盆
tieḡa 3824, 6440	そうして
tiewlē- 10770	(転生する) ?
tiewgē woli- 9499	聞く
tō šdzieri 4228, tō sdzüeri 9790, tuo sdzüer 11196	前回
tobēṇge 9698	丸ごと
tō 8647, 8652 8655, 8664, 8666, 8668, tuo 8664	烽火台
toḡdi 2510	真剣に, まじめに
tolḡue uruo- 9218, 9229, 10136, 10137, 10152, 10155,	
10159, 10208, 10337, 10346, 10350, 10357, 11775	投降する, 降伏する
toudži 1032, tōdzi 1911, 1983	簞
tuei 2669, tuēdē 5089	ペッ (唾を吐く音)
tšiāwnie 1321, tšiāwnie 9039	見知らぬ

tšida- 4358	争って (?)
tšida- 5017, tsida- 8615	逃げる
tšida- 5113, tsida- 5046, 11655, tsidā- 5115, tšia- (sic) 4007	挽く
tsidaruo gie- 9650	つまづく
tšierdzeḡ 1008, tšiärdze 5020	霰 (アラレ)
tsierdzēḡ 7815	石灰
tšiodbanḡe 3189, tšiabge 3188	ちょっとつける
tsindziori 8465, tsindziur 8471, tsüändzior 8500, tsüändzüor 8527	餅の一種 (gookii)
tsindziirē 10107	一気に
tsirölgē 8573	やすやすと
tšiseril doḡmar 1521, VM II 418	亀
tsüḡuawa te- 8074	なくす
tsunaḡ fdzē 6513, VM II 81, Tib. chu nag	黒水
tšē 5691	最も
tšē 7232	煉瓦
tšēḡdän- 1085, tšōḡdän 1340	絨毯
tšēḡtšēḡla- 1085, tšēḡtšēḡla- 10913, 11235 【tšḡḡtšḡḡla-】	集める
tšēḡla- 2113, 9158	座る (?)
tšēw 5419	床 (?)
tšiembur 1866	あちこち (?)
udaḡge wōli- 5403, udaḡḡe wol- 10843, udaḡ wōl- 11259	助ける
udaḡla- 680, 7799, 8691	統治する, 守る, 管理する
udaxuni 9307, 9313, 9318	損する (?)
udielie- 2195	(心が) 広くなる
udienza 5626, 10055	事実 (?)
udiewu wanu 1061, VM I M I 138, XM 308	平和に暮らす
udiesdzidḡe 9209	治める
udod 825, udud VM I p. 78 註 5, LT bdud § 743	悪魔
uduo 9865	(驚きを表す)
uḡluo 101	腹帯
uha! wu 3533	(驚きを表す)
ula 70, VM I XM 270, 席元麟 (1985: 398) 孫竹 (1990: 674)	牛
ula- 4583	暮らす

ulġuo 17, 4096, 4097	～にする
uluošde 6179, uluošdë 10439, lušde 6850	憤然と (?), 遠い異郷の地
urtši- 3908, urtsi- 10870, wor tsi- 8893,	
wortsi- 9335, wör tsi- 10732, VM I Xoni 44	夜が明ける
uyängi 4016	〔漢語訳〕 麻炒面
wasdzüod 8991, 9005	災い
waladziguna 7225	〔漢語訳〕 修繕完華
woŋda woŋ 3369, 3995	(犬の鳴き声)
wu- 163, bou- 1120	汲む
wu, wu 2021, wu wu 2543	(風の音)
wumba 607, 4199, 4208, 4211, 4216, 6511, VM II 66,	
LT bum-pa § 764	水瓶
wumtši 3155, Tib. bum chu	水瓶の水
wunë 685	人間の
wuni ŋkueiwa 2756	〔漢語訳〕 超集的才干
xaloŋla 10894, 10901, 10906	熱く
xänidza 4824	度胸があれば
xara šo 2638	鷹
xarani 2594	〔漢語訳〕 経過的
xarāl 9105, xaralō 5265	(輕蔑を表す)
xarawdziġe 6525	小さい燕
xdoġuo- 11428	刺し殺す
xdzer- 11435	(体に) 付着する
xdzërma 984 → guei xserma	
xenda xen 3367, 3393, xëŋda xëŋ VM I XM 23	(馬の鳴き声)
xëndala- 2999	風が吹く
xërdzë 11276 [xairsə]	肋骨
xoġlo- 4190 正書法 hughuli- ?	(呪い) をかける
xōluodīŋge 3437, xōldzīŋge 3469, xuoluodēŋge 3487	〔漢語訳〕 仏祖仏師
xoŋ kadaġ 8354, 8367	雪のように白いハダック
xsuodi- 2127, xdōdë- 2129	案内する
xuatsien 684, 719, 1107, 1162, 1171, 1235, xuatsien 2755,	
xuātsīcēn 1107	武芸
xuašda 9654, 9666 < xua+šda (Tib. rta)	武術馬

xuāmbār 9573, 10110, 10240, 10113	たいまつ
xuani xuatsien 2755	[漢語訳] 驚人的武術
xuduǰuoda 4019	味わって
xue sara 1864	[漢語訳] 灰撒刺
xuodzēlange 2395	無駄に
xuogeni 11589	傷を受ける (?)
ya yandzāne 568	あらゆるもの
yāǰsamani 1973, yāǰsamani 2324, yāǰdzamani 10007	のらくら者, 愚かな
yākun 9181 [je: kun]	野人
yamō 3546, 3754	だめな, 汚い
yamo lata 2983	汚い, 不潔な
yāntsūan 33 [jyantçæn] 園圪	周り
yānte 253, yen tā 265 [jæntai] 硯台	硯 (スズリ)
yaŋga- 3749, 10407, 10521	つぶやく
yāsdzüǰluo- 9611	手綱をつける
yāwsdzüǰ 9640	手綱
yāyi 1916	頬
yāyi wōl- 5400, yāyi wol- 6695, VM I M I 132	大笑いする
yieh 1961	[感嘆詞] オイ
yih, yih 4290	(泣き声)
yīngēdēni (sic) 555	こうして (?)
yīŋla- 1808, 9125	ほんやりする
yōdeni 4507, yodēni 6544	争う
yōǰuola- 7334, yūoxōlo- 9010, yōxoluo- 9015	罵る
yoŋ 1039, 1042	(疑問助詞)
yūoruoda 957	徹底的に (?)
yūr 564, LT yul § 787	国

参考文献

- 哈斯巴特爾, 等編 (1985) 『土族語詞彙』 (Monɣor kelen ü üges) 内蒙古人民出版社
- 互助土族自治県民族語文籍 (1982) 『土漢対照彙』 (Monghol Qidar Harilqilegu Ugosge) 互助土族自治県民族語文籍公室翻印
- 李克郁編 (1988) 『土漢詞典』 (Mongghul Qidar Merlong) 青海人民出版社
- 呂光天 (1981) 「青海土族の語言與來源關係」 呂光天著『北方民族原始社会形態の研究』寧夏人民出版社 507-522 (初出は1955年第三輯『中國民族問題研究集刊』)

- 清格爾泰等編 (1988) 『土族語話語材料』 (Mongγor kelen ü üge keelge yin materiyal) 蒙古語族語言方言研究叢書 015 内蒙古人民出版社
- 孫竹主編 (1990) 『蒙古語族語言詞典』 青海人民出版社
- 施勞得 (Schröder) 記錄, 李克郁訳 (1994) 『土族格賽爾』 青海少數民族古籍叢書 青海民族出版社
- 席元麟 (1985) 「土族語音位系統」 中国民族語言学会編 『中国民族語言論文集』 395-405
- 照那斯圖 (1981) 『土族語簡誌』 民族出版社
- 角道正佳 (1987) 「土族語の下位方言」 『大阪外國語大學學報』 第75-1.2号 49-63
- 角道正佳 (1988a) 「Geser rëdzia-wu の言語—自由交替—」 『大阪外國語大學學報』 第76-1.2号 25-50
- 角道正佳 (1988b) 「Geser rëdzia-wu の言語—分布—」 『大阪外國語大學學報』 第77号 23-44
- 角道正佳 (1990a) 「土族語 (モンゴル語) の一方言の自由交替—Aus der Volksdichtung der Monguor の言語—」 『大阪外国語大学論集』 第3号 65-91
- 角道正佳 (1990b) 「土族語の正書法」 『大阪外国語大学論集』 第4号 49-76
- 角道正佳 (1990c) 「土族語の一方言—Aus der Volksdichtung der Monguor の言語—」 『内陸アジア言語の研究』 VI 神戸市外国語大学 外国語研究 XXIII (神戸市外国語大学外国語研究所) 179-200
- 角道正佳 (1994) 「席元麟「土族語音位系統」における母音の分類について」 『日本モンゴル学会紀要』 No. 25, 15-28
- Heissig, Walther (1980) *Geser rëdzia-wu*, Dominik Schröders nachgelassene Monguor (Tujen)-Version des Geser Epos aus Amdo, Otto Harrassowitz, Wiesbaden.
- Róna-Tas, A. (1966) *Tibet-Mongolica, The Tibetan Loanwords of Monguor and the Development of the Archaic Tibetan Dialects*, Mouton & Co., The Hague.
- Schröder, Dominik (1952) 'Einige Hochzeitslieder der Tujen,' *Folklore Studies*, Supplement 1, 303-354, Peking.
- Schröder, Dominik (1959) *Aus der Volksdichtung der Monguor*, 1. Teil, Otto Harrassowitz, Wiesbaden.
- Schröder, Dominik (1964) 'Der Dialekt der Monguor,' *Handbuch der Orientalistik*, Bd. 5, Absch. 2, *Mongolistik*, Leiden/Köln, E.J. Brill, 143-158.
- Schröder, Dominik (1970) *Aus der Volksdichtung der Monguor*, 2. Teil, Otto Harrassowitz, Wiesbaden.
- de Smedt, A. et A. Mostaert (1933) *Le dialecte Monguor parlé par les mongoles du Kansou occidental*, III^e partie, *Dictionnaire Monguor-Français*, Imprimerie de l'université Catholique, Pei-p'ing.
- de Smedt, A. et A. Mostaert (1964) *Le dialecte Monguor parlé par les mongoles du Kansou occidental*, II^e partie, *Grammaire*, Mouton & Co., The Hague.
- Тодаева Б. Х. (1973) Монгорский язык, издательство «наука» главная редакция восточной литературы, Москва.

(1996. 5. 9 受理)